

【基調講演（1）】

演題『ミツバチや赤トンボがこつ然と消えた』

<講師プロフィール>

みずの れいこ
水野 玲子 氏 S28 (1953) 年生まれ

化学物質から子どもや生態系を守るための市民レベルの活動、化学物質による被害者救済などをおこなっている。NPO 法人ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議（JEPA）理事。NPO 法人化学物質による大気汚染から健康を守る会（VOC 研）理事。著書『新農薬ネオニコチノイドが日本を脅かす—もうひとつの安全神話』七つ森書館。『虫がいない鳥がいない—ミツバチの目で見た農薬問題』高文研。共訳書『レイト・レッスン—欧州環境庁環境レポート』七つ森書館『がんと環境』藤原書店など。

【基調講演（2）】

演題『田んぼの生き物を豊かにする稲作技術』

<講師プロフィール>

いなば みつくに
稲葉 光國 氏 S19 (1944) 年生まれ

S. 43 (1968) 東京教育大学大学院修士課程修了。S. 44 (1969) ~H. 9 (1997) 栃木県内の農業高校勤務、H. 11 (1999) NPO 法人民間稲作研究所設立。理事長就任。H. 21 (2009) 有機農業技術支援センター設立、H. 24 (2012) 東電福島原発の放射能の除染事業を目的に一般社団法人グリーンオイルプロジェクトを設立。(株)タイガーカワシマの協力を得て温湯消毒機（湯芽工房）・(株)イングスの協力を得て有機培土を開発、成苗育苗技術・循環型肥培管理技術・太茎・大穂による安定多収技術・水田生物の多様性を活かした抑草技術を提案。栃木県より有機種子採種圃の指定を受け、JAS法に準拠した種子を供給。著書：「太茎・大穂のイネづくり」H6年農文協刊、「除草剤を使わないイネづくり」H10年民間稲作研究所編著 農文協刊、「有機農業とイネづくり」H15年筑波書房刊、「あなたにもできる無農薬・有機のイネづくり」H19年農文協刊など。